

□ ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と設置説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取り扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です。	この絵表示は、「分解禁止」の内容です。	この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
-------------------------	---------------------	---------------------	-----------------------------

やけど、漏水をした場合の処置	やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
	漏水 そして専門の業者に修理を依頼してください。

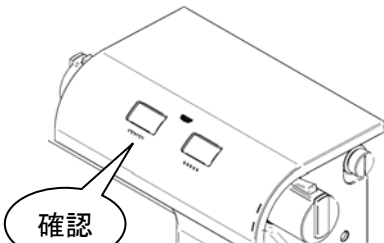
警告

<p> 湯温度は 60℃より高温で使用しないでください。 禁止 60℃以下</p> <p>湯</p> <p>60℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p> 加工及び接合等の改造はしないでください。 禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p> 小さいお子様だけの使用は避けてください。 禁止</p> <p>やけど、けがをするおそれがあります。</p>
<p> 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。 分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p> 水栓本体左側（湯側）は給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。 禁止</p> <p>あつい</p> <p>やけどするおそれがあります。</p>	<p> 温度調整ハンドル、流量調整ハンドルはカバーの奥で握らないでください。 禁止</p> <p>握りながら回しますと、カバーに当たり、けがをするおそれがあります。</p>

警告



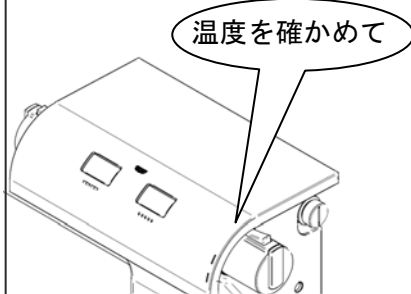
お使いになる前に、吐水口ボタンかシャワーボタンかを確認してから湯をお使いください。



吐水口吐出とシャワー吐出を間違えるとやけどするおそれがあります。



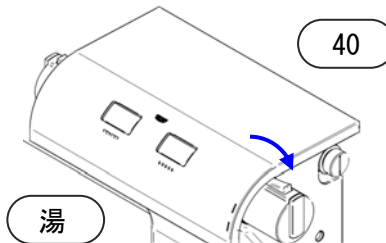
温度調整ハンドルの位置を確かめた後、吐出してください。



確かめないと高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



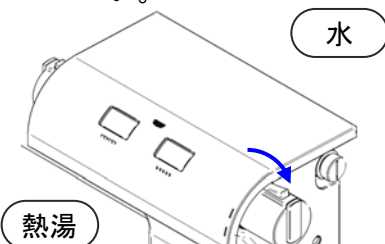
高温の湯をお使いの後は、必ず温度調整ハンドルを40℃以下に戻しておいてください。



次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどするおそれがあります。



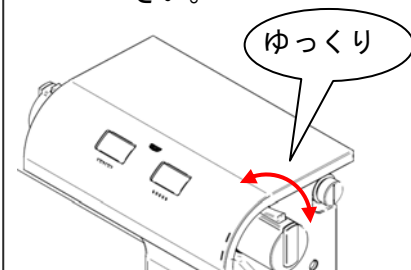
高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。



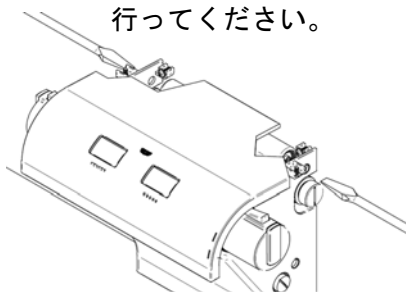
温度調整ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。



やけどするおそれがあります。



ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。

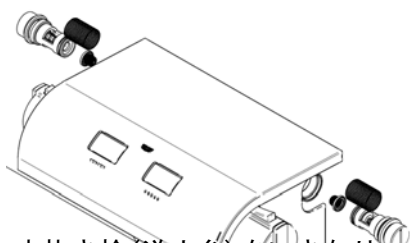


ストレーナをいきなり開けずと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

水抜き栓(逆止弁)は水抜き以外の目的で開けないでください。

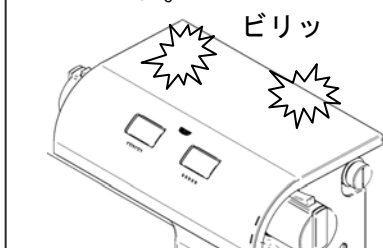


水抜き栓(逆止弁)をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

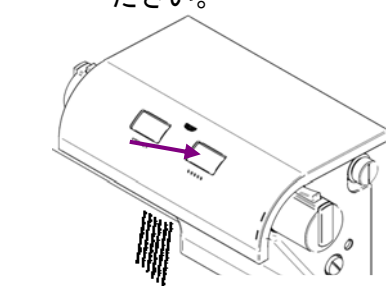


通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

吐水口で高温の湯をする際は、シャワーボタンを押さないでください。



シャワーから不意に高温が出て、やけどするおそれがあります。

⚠ 警告



湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。

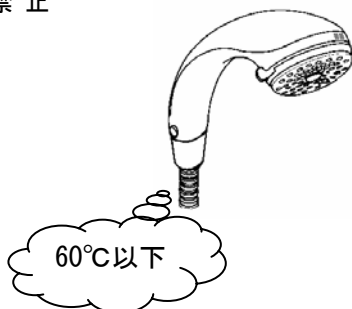


確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなるおそれがありますのでご注意ください。



禁止

シャワーには 60℃以上のお湯を通水させないでください。



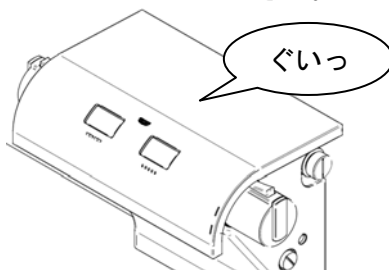
通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

器具やボタンに乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

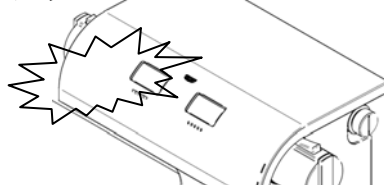


器具やボタンが破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

ガシャン

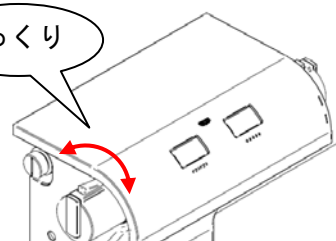


めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。



流量調整ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。

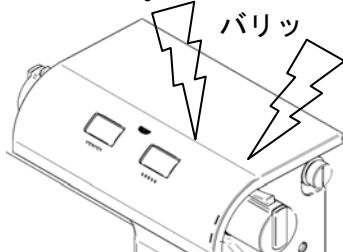
ゆっくり



ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。



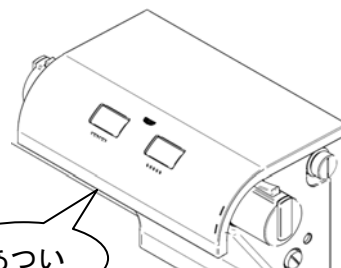
落としたり、ぶついたりすると破損の原因になります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときには吐水口（カバー下側）は高温になっています。直接肌を触れないでください。

あつい

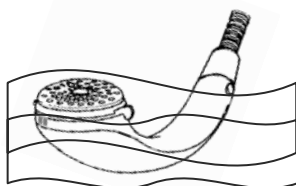


やけどするおそれがあります。

⚠ 注意



シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。



水が逆流するおそれがあります。



時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。

温度調節ハンドルを長期間回さず使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

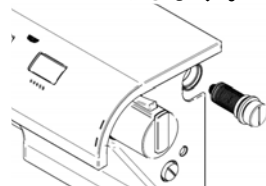


配管まわりから水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検をおすすめします。



逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。



状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

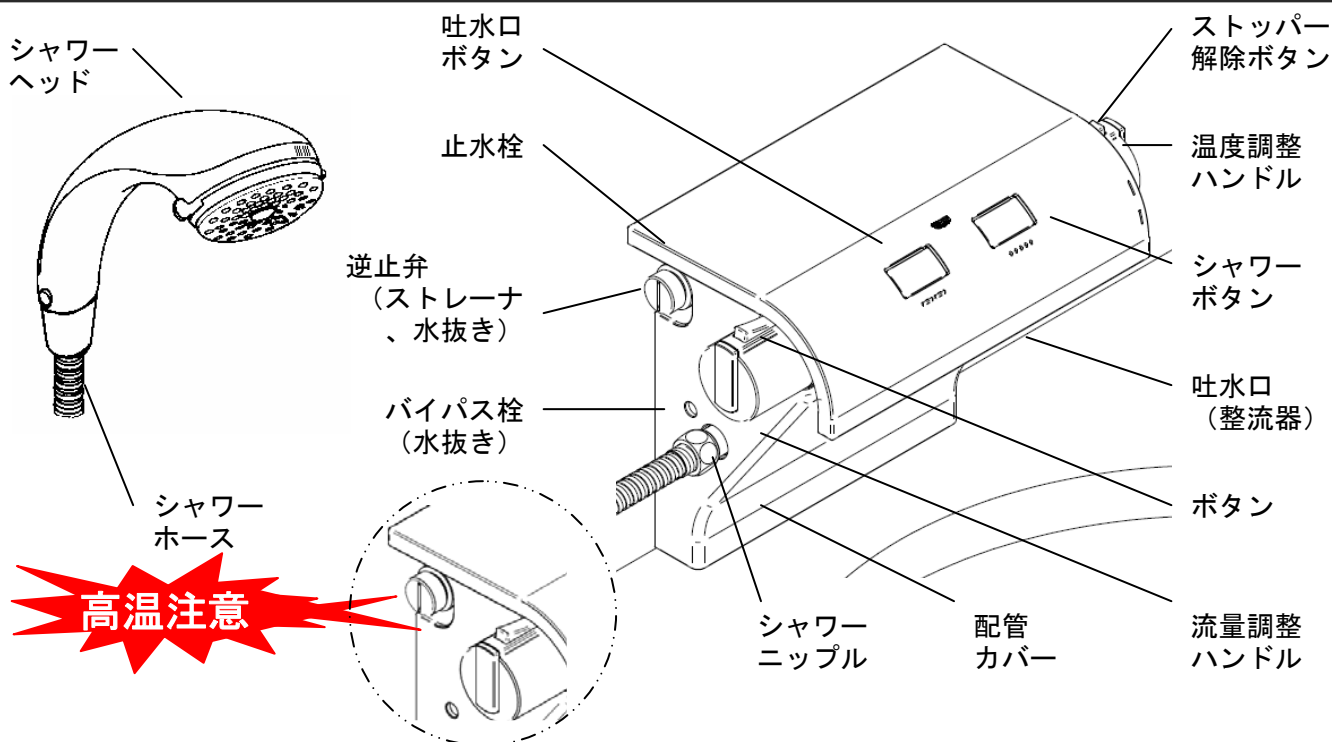
ご使用の前に

給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より 10℃以上高くしてください。なお、安全のため 60℃給湯をおすすめします。
- 流量調整ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- 流量調整ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐水切換ハンドルで調節を行ってください)
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

ご使用方法

各部の名称



ご使用方法

温度調整方法

温度調整ハンドルを回して、好みの温度に合わせます。高温に回しますと、約40℃でいちど温度調整ハンドルが止まります。

それ以上の高温を出すときには、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。

高温を使用後は40℃以下に戻してください。

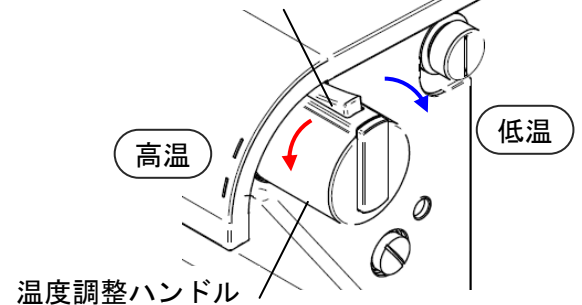
ストッパー解除ボタンがカバーの真上で、約40℃です。

「お願い」温度調整ハンドルのズレを直すには、温度調整ハンドルの設定方法を参照してください。


注意 ストッパー位置の温度は、温度調節の目安としてください。


図のストッパー解除ボタンの位置は、約40℃

ストッパー解除ボタン



吐水口、シャワー使用方法

吐水口 吐水口ボタンを押す。「」表示が光る

シャワー シャワーボタンを押す。「」表示が光る

止水 押したボタンを、もういちど押す。表示が消える

止水忘れ防止と節水のため、10分以上使用しますと、自動的に止水します。

再度、使用するには、ご使用したいボタンを押してください。

押したボタンは表示が光ります。

押しても湯水がでないときは、表示が光っているか確認し、ボタンの中心部を押してください。

ボタンの端ですと、湯水がでないことがあります。それでも湯水がでないときは、『カチッ』と音がするか確認してください。

停電中では『カチッ』と音がせず、使用はできません。

停電でない場合は、電磁弁の故障あるいは電源の接続が間違っているおそれがあります。

取付店・販売店にご連絡してください。

カバーには、吐水口マーク、シャワーマークがあります。目を閉じた状態などのときに目印となります。

警告 湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

注意 流量調整ハンドルは、ゆっくり操作してください。急な操作は衝撃音（ウォーターハンマー）が発生し、漏水の原因となります。

通水音が大きい場合

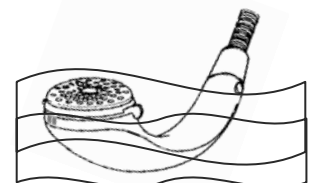
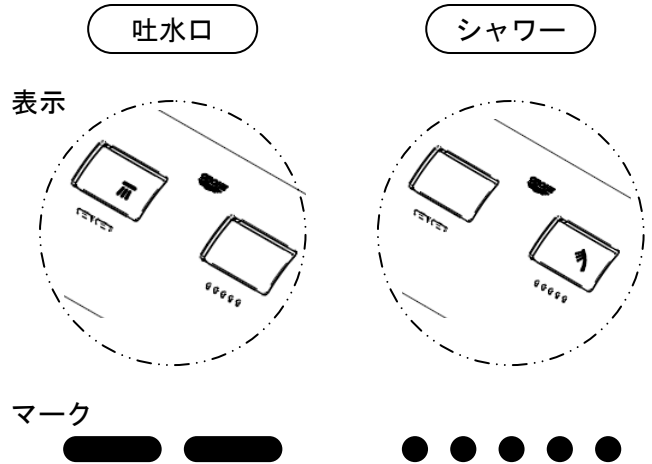
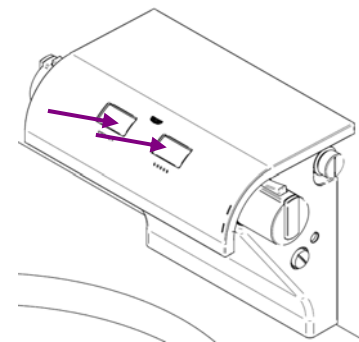
流量調整ハンドルを最大で使用する際に通水音が大きい場合は、湯水の止水弁をしぼって調整してください。（流量の調節方法 参照）

止水直後の水滴について

シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。

注意 シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

注意 水栓に使用できる水質は、水道水および飲用可能な水となっております。本器具は浴室用ですので「飲用使用範囲外設置品」として登録されております。



ご使用方法

吐水口、シャワー切換方法

吐水口を使用していて、シャワーをお使いになりたいときには、シャワーボタンを押してください。

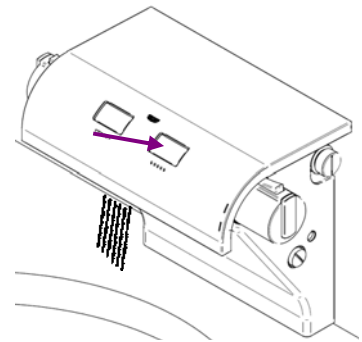
吐水口からの湯水は止まり、シャワーから湯水がでます。

同様に、シャワーを使用していて、吐水口をお使いになりたいときには、吐水口ボタンを押してください。

シャワーからの湯水は止まり、吐水口から湯水がでます。

止水するには、湯水がでている側のボタンを押してください。

吐水口とシャワーは同時に使用することができません。



流量調整方法

流量調整ハンドルを回して、吐出量を調整できます。

少量側に回しますと、約1/3回転でいちど流量調整ハンドルが止まります。

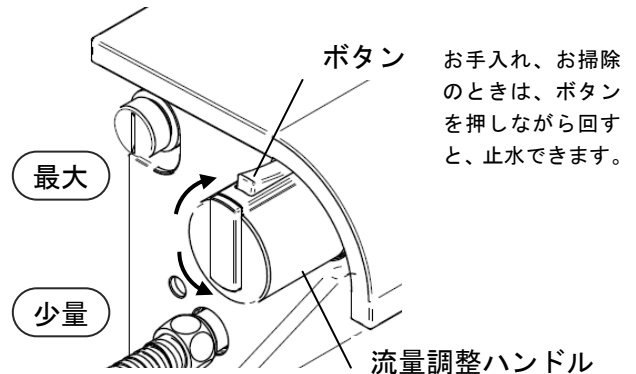
それ以下の吐出量、もしくは止水したい場合は、ボタンを押しながら回してください。

少量を使用後は最大に戻してください。

ボタンがカバーの真上で、最大です。

「お願い」止水はお手入れ、お掃除のとき以外は使用しないでください。また、使用後は最大に戻してください。

図のボタン位置は、吐出量の最大



停電時の使用方法

停電時は、吐水口ボタン、シャワーボタンでの操作ができませんが、バイパス栓を開けることにより、吐水口、シャワーのいずれかを使用できます。

流量調整ハンドルのボタンを押しながら回し、止水状態にしてください。

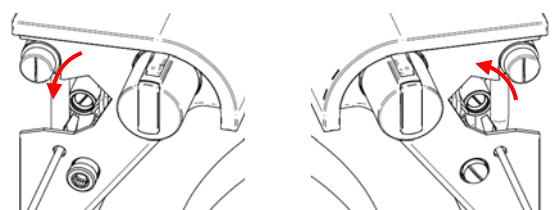
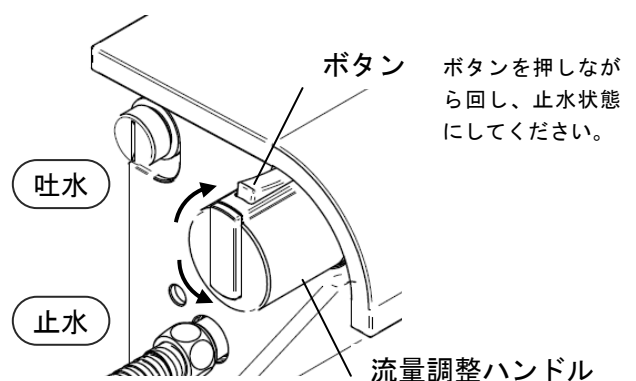
ご使用したい側のバイパス栓をマイナスドライバーで開いてください。

バイパス栓は配管カバーの中にありますので、マイナスドライバーを配管カバーの穴に挿入し、バイパス栓を開いてください。

バイパス栓は、本体に向かって左側面のバイパス栓が吐水口用、右側がシャワー用となります。

ご使用したい方を選んで開栓してください。

流量調整ハンドルを回すと、吐出します。



吐水口側

シャワー側

いずれか一方のみ開いてください。

日常のお手入れ・保守

お手入れのしかた

軽い汚れの場合

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、かわいた布でふき取ります。

ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから乾いた布でから拭きします。

使ってはいけないもの

製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。また、金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



※お手入れ、お掃除のときは、不意にシャワーボタンを押してしまい湯水をあびるおそれがあります。流量調整ハンドルのボタンを押しながら回し、止水状態にしてください。

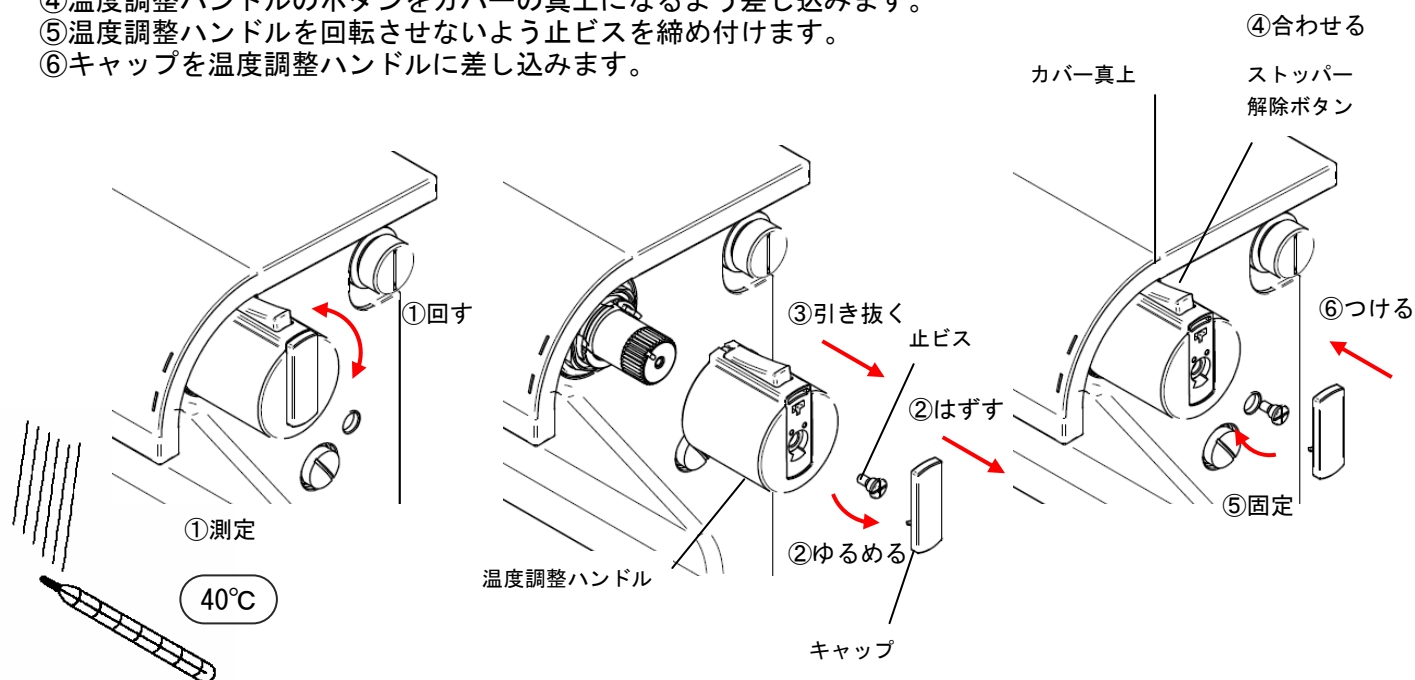
温度調整ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により適切な湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルが吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルのストッパー解除ボタンが本体の正面になるときに40℃になるように、はめ直してください。

はじめに確かめてください

- 止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- 給湯温度(60℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。※推奨温度は約60℃です。

- ①全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯がでるところまで、温度調整ハンドルを回します。
- ②キャップを引き抜き、温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを取り外します。
- ③温度調整ハンドルをまっすぐに引き抜きます。
- ④温度調整ハンドルのボタンをカバーの真上になるよう差し込みます。
- ⑤温度調整ハンドルを回転させないよう止ビスを締め付けます。
- ⑥キャップを温度調整ハンドルに差し込みます。



日常のお手入れ・保守

ストレーナ、整流器の清掃方法

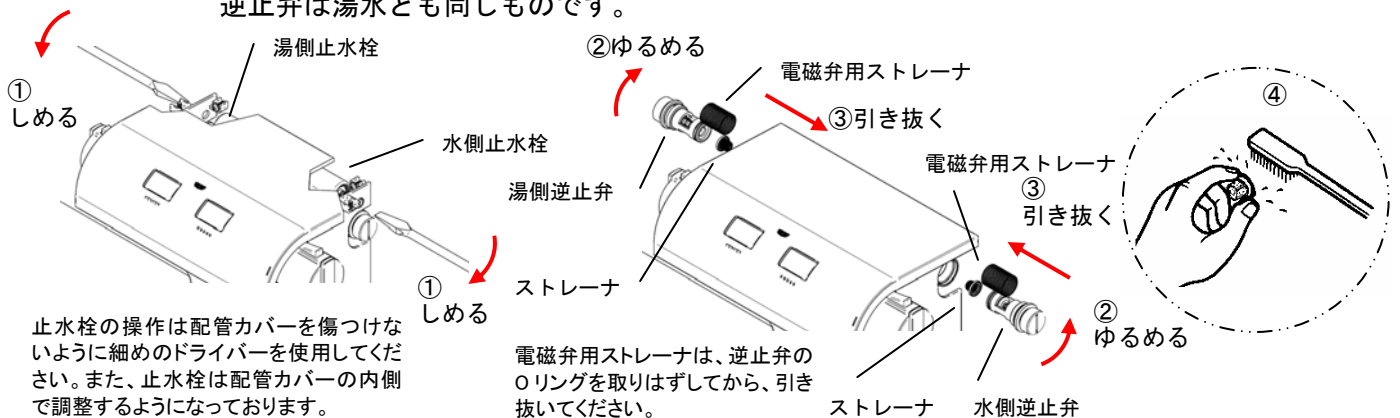
ストレーナ

湯水逆止弁のストレーナにゴミが詰まると、吐出量が減ったり、希望する温度にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

⚠警告 ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側逆止弁の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際は、やけどをしないように注意してください。

- ①湯側・水側の止水栓（ニケ所）をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
 - ②湯側・水側の逆止弁を（二個）を取り外します。
 - ③逆止弁からストレーナを取り外します。
 - ④ストレーナをブラシで、ゴミ・水アカ等を洗い流します。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

「お願い」組み立て時は、逆止弁はドライバー等で確実に締め付けてください。逆止弁は湯水とも同じものです。

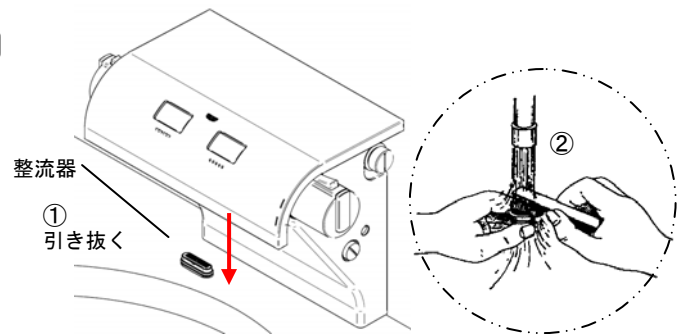


吐水口の整流器

吐水口の整流器にゴミが詰まると、吐出量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、その時は清掃してください。

- ①整流器を引き抜いてください。
 - ②整流器をブラシで、ゴミ・水アカ等を洗い流します。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

※網を壊さないようにしてください。
※特殊な横長の整流器ですので、横に飛び散る傾向があります。

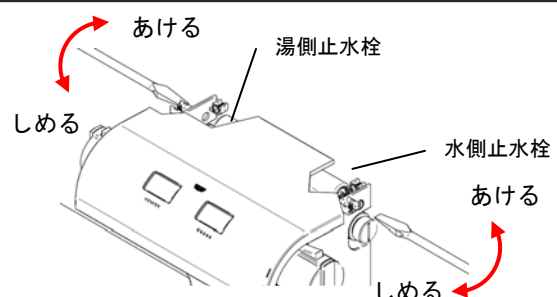


流量（止水栓）の調整方法

流量調整は右記の方法で行なってください。

※水と湯の流量が3：1程度か、同量になるようにしてください。

止水栓の操作は配管カバーを傷つけないように細めのドライバーを使用してください。また、止水栓は配管カバーの内側で調整するようになっております。



日常のお手入れ・保守

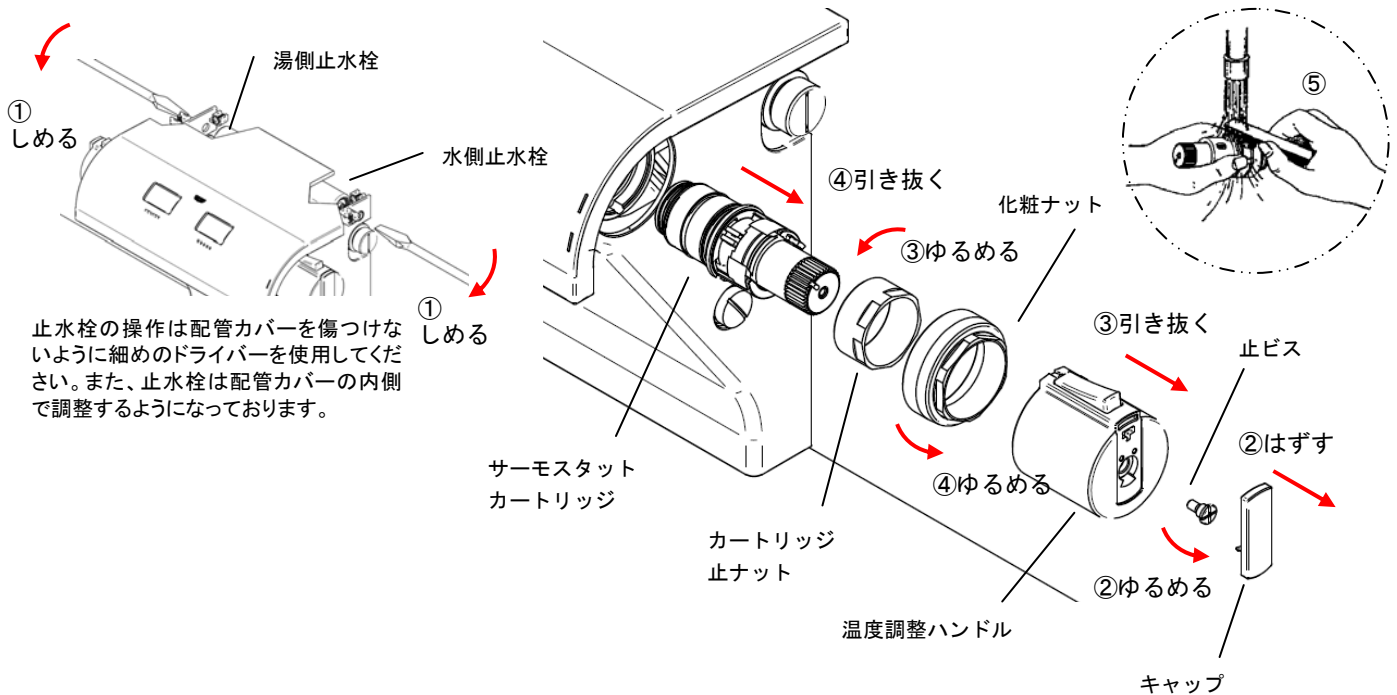
サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調整がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

⚠警告 サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ①湯水両側の止水栓をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
 - ②キャップ、止ビス、温度調整ハンドルを取り外します。
 - ③化粧ナットを取り外します。
 - ④カートリッジ止ナットを取り外し、サーモスタットカートリッジを引き抜きます。
 - ⑤サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。
- 清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

「お願い」組み立て時は、化粧ナット、カートリッジ止ナットはスパナ等で確実に締め付けてください。取り付け後は、温度調整ハンドルのストップ位置が、吐水温度(40℃)と合っているか確認してからご使用ください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

温度調整ハンドルの操作性(一ヶ月に一回程度)

⚠注意 時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

流量調整ハンドルの操作性 時々ボタンを押しながら回し、止水状態にしてください。流量調整ハンドルを長期間開栓して置くと機能部に水あかなどが付着し、止水機能が損なわれるおそれがあります。

配管まわりからの水漏れ(一ヶ月に一回程度)

⚠注意 配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・磨耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検をおすすめします。

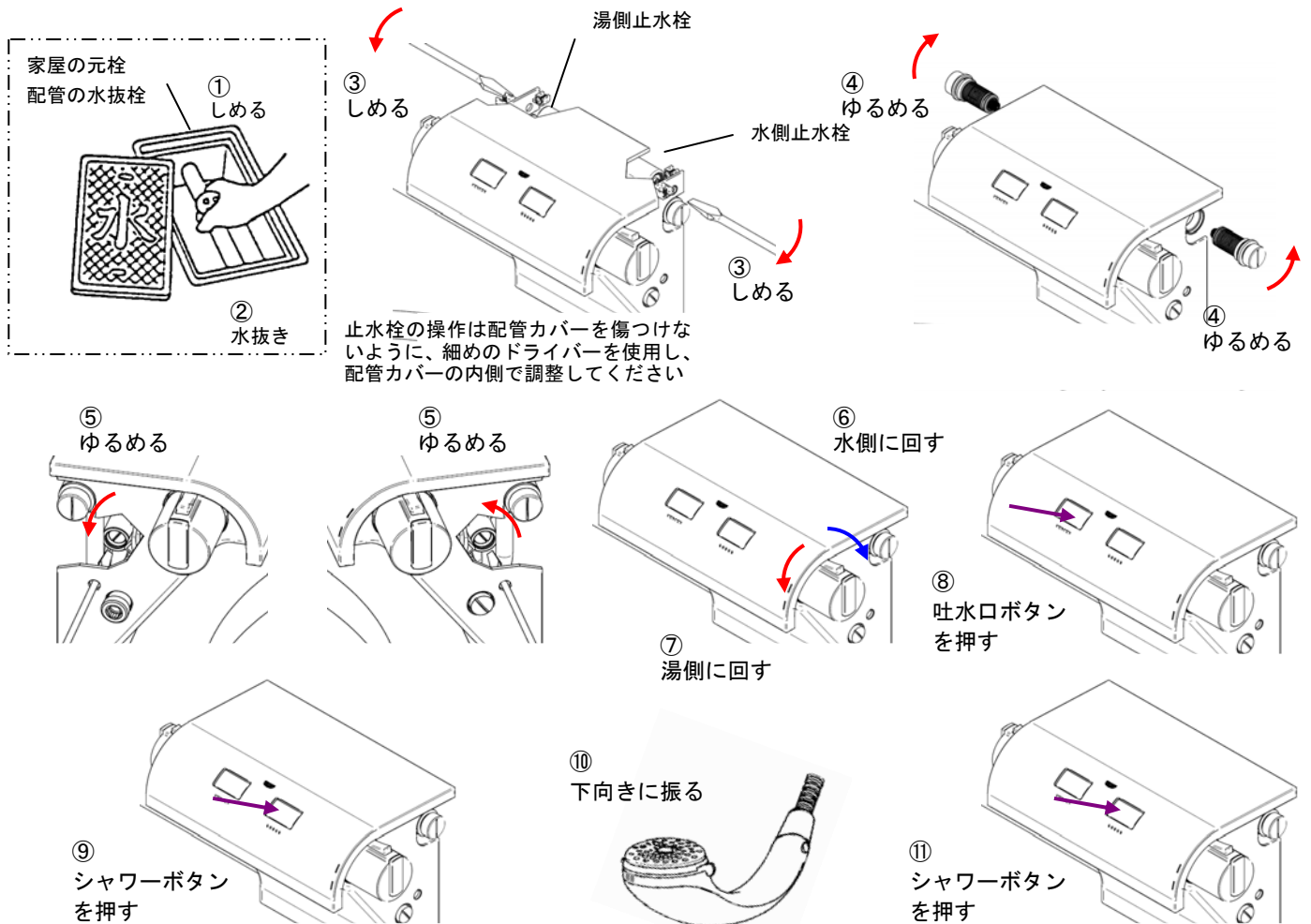
水抜き方法

(凍結が予想される場合)

⚠ 警告 湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください
 解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。
 通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意 凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
 怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操 作
—	①	家屋の元栓を閉めます。
—	②	家屋側の配管に水抜き栓がある場合は、水抜き作業を行なってください。
③	—	湯側・水側の止水栓(ニヶ所)をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
④	④	湯側・水側の逆止弁(二個)を取り外します。
⑤	⑤	バイパス栓(左右)をゆるめます。
⑥	⑥	温度調整ハンドルを水側に回して、水側の水を抜きます。
⑦	⑦	温度調整ハンドルを湯側に回して、湯側の湯を抜きます。
⑧	⑧	吐水口ボタンを押し、吐水口側電磁弁の水を抜きます。
⑨	⑨	シャワーボタンを押し、シャワー側電磁弁の水を抜きます。
⑩	⑩	シャワーヘッドを床におろし、シャワー、ホース、バイパス内の水を抜きます。
⑪	⑪	シャワーボタンを押し、止水状態にします。



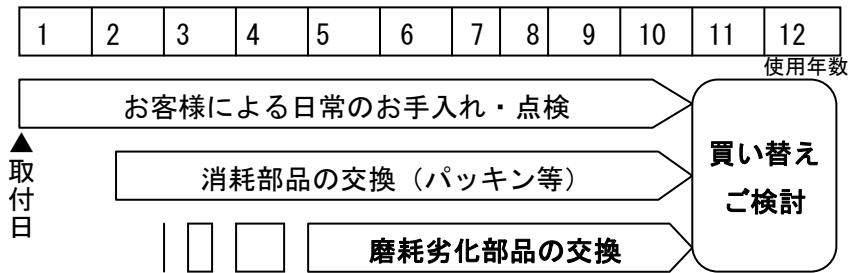
水抜き後 通水を再開する

「お願い」必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、ボタンの表示が消えているのを確認してから通水してください。

再通水の時に水が出ない場合

吐水口ボタンを押し、吐水状態でそのまましばらくお待ちください。
 これは、水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象で、異常ではありません。

定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)



部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはグローエジャパンサービス課にご連絡ください。

部品の交換

部品が磨耗・劣化すると水漏れの原因になりますので、交換が必要です。
磨耗・劣化部品 (水栓の種類によって異なります)
例) カートリッジ、シャワーホース、逆止弁

△注意 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。)

補修用部品の供給期間

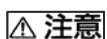
この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	点検箇所
湯水が出ない	流量調整ハンドルが閉じている	流量調整ハンドルを吐水の位置に合わせる	6ページ 「流量調整方法」
	停電している	通電が復旧してから使用する	—
	ブレーカーが落ちている	ブレーカーを復旧する	—
湯水が止まらない	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません	—	—
吐水量が少ない	流量調整ハンドルが少量になっている	流量調整ハンドルを最大の位置に合わせる	6ページ 「流量調整方法」
	止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	8ページ 「ストレーナの清掃方法」
シャワーが弱い	サーモスタットにゴミ等がつまっていませんか	サーモスタットを清掃する	9ページ 「サーモスタット清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	水側止水栓は十分に開いていますか	水側止水栓を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていませんか	サーモスタットを清掃する	9ページ 「サーモスタット清掃方法」
低温しか出ない	湯側止水栓は十分に開いていますか	湯側止水栓を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていませんか	サーモスタットを清掃する	9ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給水圧力が給湯圧力より高くなっておりませんか	水側止水栓で水量を調整する	8ページ 「流量の調節方法」
	必要とする吐水温度より、給湯機の給湯温度を10℃以上上げる	—	—
温度調整がうまくいかない	流量調整ハンドルが少量になっている	流量調整ハンドルを最大の位置に合わせる	6ページ 「流量調整方法」
	水側、湯側の止水栓は十分に開いていますか	止水栓を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	水側、湯側のストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	8ページ 「ストレーナの清掃方法」
	サーモスタットにゴミ等がつまっていませんか	サーモスタットを清掃する	9ページ 「サーモスタット清掃方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—
	温度調整ハンドルの設定は合っていますか	温度調整ハンドルの設定、作動を確認する	—
吐水が飛び散る	吐水口の整流器にゴミ等がつまっていませんか	吐水口の整流器を清掃する	8ページ 「清流器の調節方法」
シャワーの散水状態が安定しない	給水圧力が給湯圧力より高くなっておりませんか	水側止水栓で水量を調整する	8ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分なお湯がきていますか	給湯機の設定温度、作動を確認する	—

水栓本体内部のメンテナンスをする場合



修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはGROHE修理受付センターにご依頼ください。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはグローエジャパンサービス課にご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。
シールの左下が品番です。

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・
調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

連絡していただきたい内容

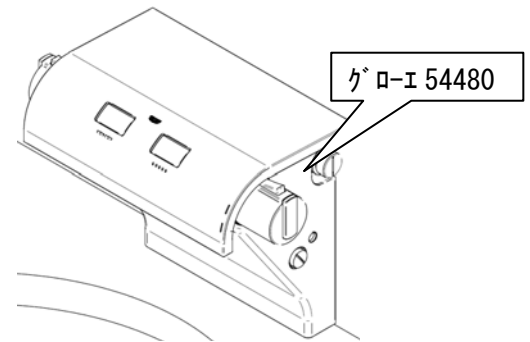
1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

グローエジャパン株式会社サービス課

03-3298-9683

受付時間

平日 9:30~17:30 (受付・お問い合わせ)
平日夜間・土・日・祝日 24時間 (受付のみ)



保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。下記の保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。
※取り付け日・取扱店の欄に記載の無い場合は、無効になります。

無料修理規定 (保証規定)

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご移居・ご贈答品などで、本書を記載の取扱店に修理をご依頼できない場合、当社サービス課にご相談ください。
4. 保証期間内でも以下の場合、有償修理とさせていただきます。
 - (1) 使用・維持保管上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
 - (2) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
 - (3) お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
 - (4) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
 - (5) 消耗部品の劣化に伴う故障の損傷
 - (6) 本書の提示がない場合
 - (7) 本書に取付日・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間 : 取付日より2年

取扱店 (店名・住所・TEL)

取付日 : 年 月 日

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHE JAPAN ホームページ

<http://www.grohe.co.jp>